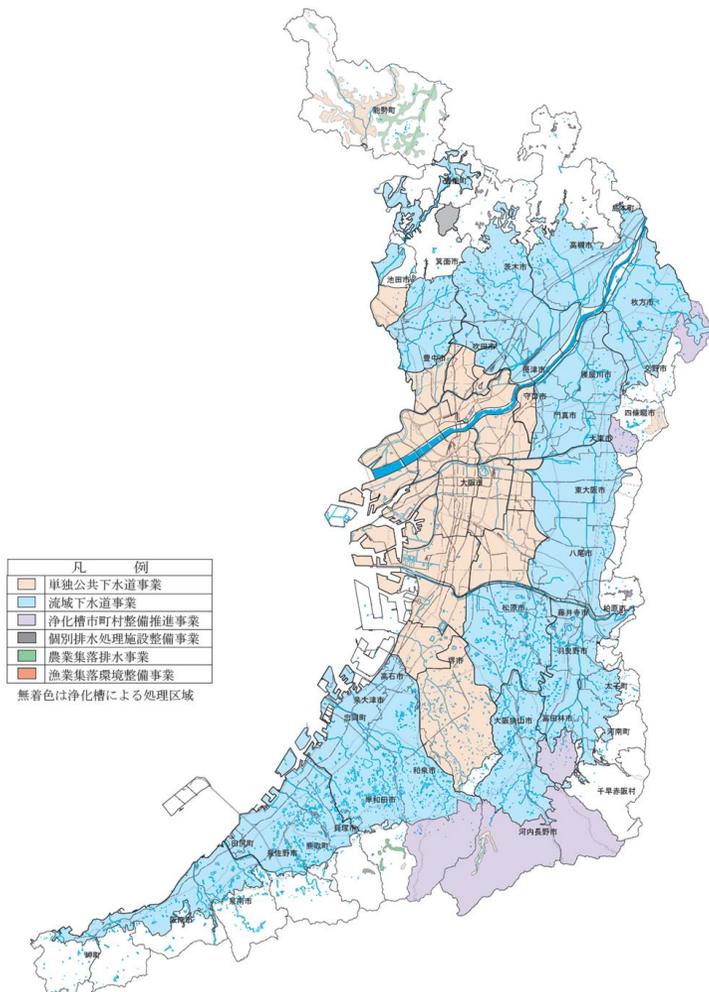


大阪府市下水道ビジョン 資料編

1. 大阪府内の下水道概要
2. 下水道事業の財源
3. 大阪府内の下水道整備状況と公共用水域の改善
4. 浸水対策の推進
5. 下水道事業の広域化・共同化計画
6. 参考資料

1. 大阪府内の下水道概要

大阪府では、下水道、集落排水、合併処理浄化槽による適正な汚水処理を推進しており、2019年度末の汚水処理人口普及率(行政人口に占める適正な汚水処理が行われている人口)は98%に達しています。また、住民の99.8%が下水道計画区域に居住しており、多くの住民の安全で快適な暮らしを支えています。



- 凡 例
- 単独公共下水道事業
 - 流域下水道事業
 - 浄化槽市町村整備推進事業
 - 個別排水処理施設整備事業
 - 農業集落排水事業
 - 漁業集落環境整備事業
- 無着色は浄化槽による処理区域

大阪府域の生活排水処理計画図(2020年度末)



大阪府は流域下水道管渠と水みらいセンターの建設・維持管理を行っています。
 A町,B市,C市は各家庭から流域下水道管渠へ流入する下水道(流域関連公共下水道)の建設・維持管理を行っています。
 E市は単独公共下水道管渠と処理場の建設・維持管理を行っています。

流域下水道と単独公共下水道

処理方式	現況処理人口(人) 2019年度末
下水道	8,293,971
農業・漁業 集落排水施設	745
合併処理 浄化槽	217,177
全体	8,511,893 (96.2%)

※(〇)は府人口(8,844千人)に対する割合

※下水道処理人口は接続人口を示す。

府内汚水処理施設の整備状況

1. 大阪府内の下水道概要

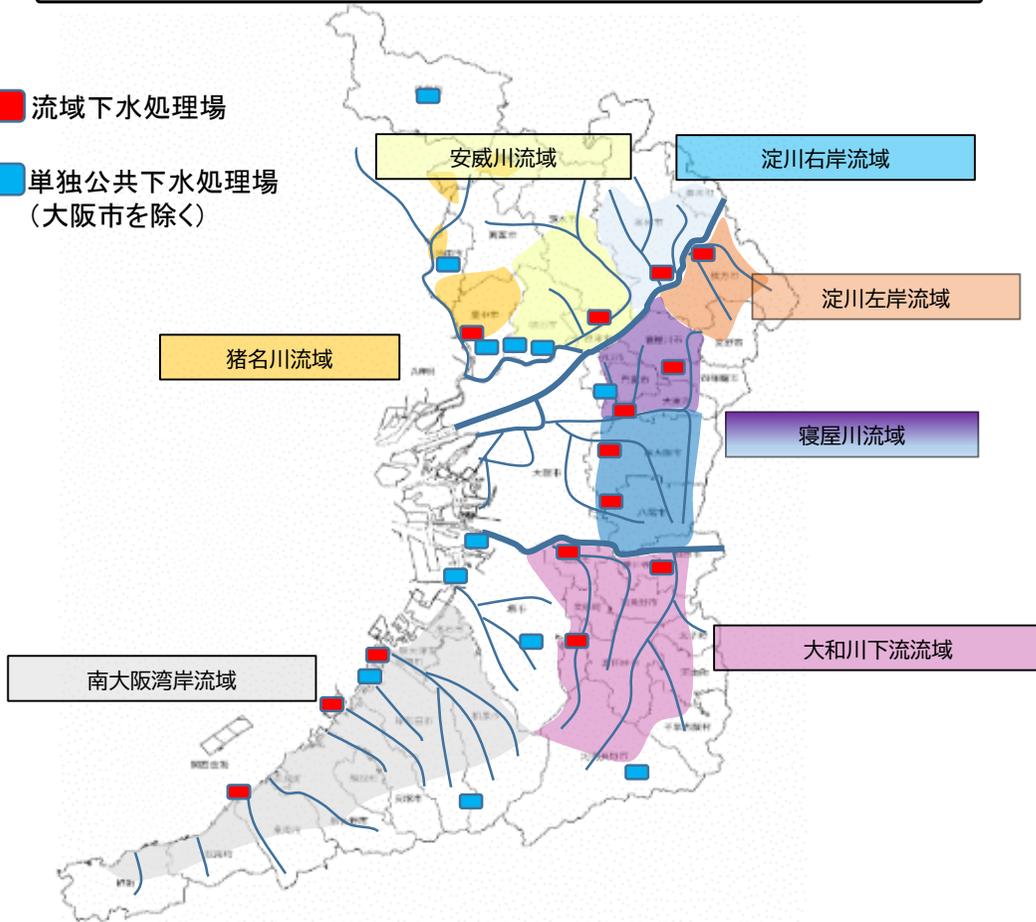
下水道は、市町村界にとらわれず、河川の流域単位で処理区を構成し、下流に処理場を配置することで、汚水を自然流下により、効率的に収集できる最適な施設配置となっています。

大阪府流域下水道及び単独公共下水道

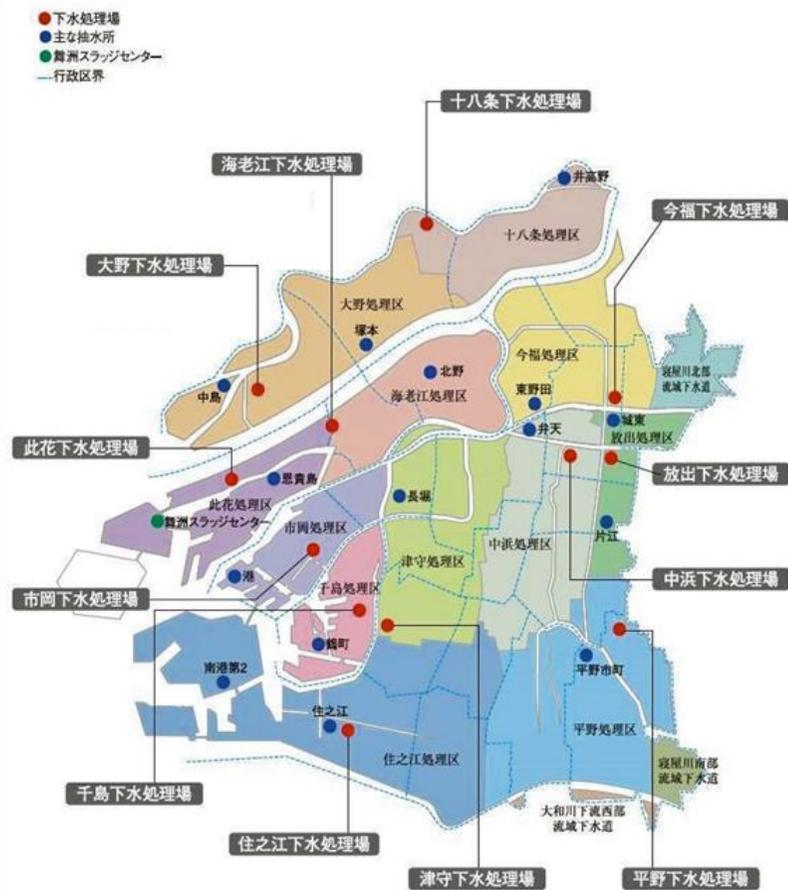
※大阪市単独公共下水道は右図に示す

流域下水処理場

単独公共下水処理場
(大阪市を除く)



大阪市単独公共下水道



大阪府域の下水道計画図

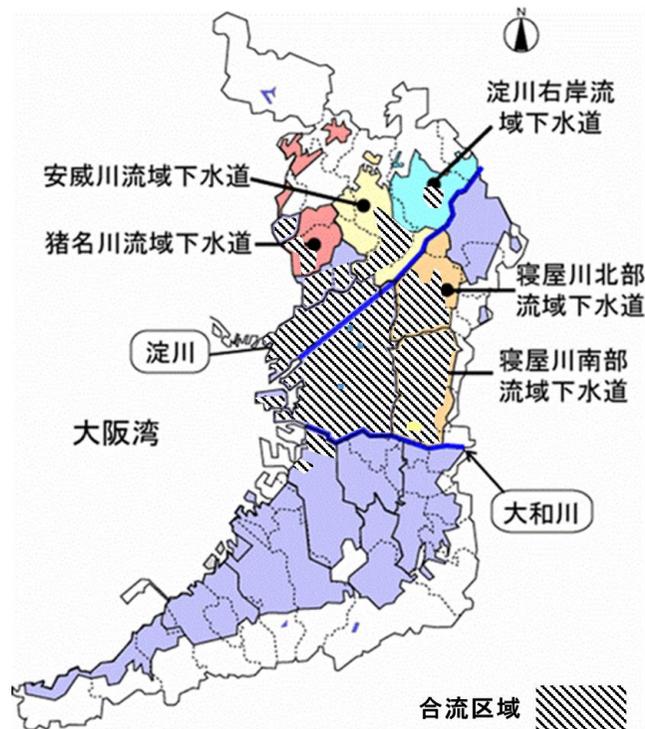
1. 大阪府内の下水道概要

下水道の排除方式

下水道の排除方式は合流式と分流式の2つがあります。古くから整備している大阪市等の市街地は、汚水と雨水を同一の管きよで排除できる合流式下水道で整備されている地域が多くなっています。



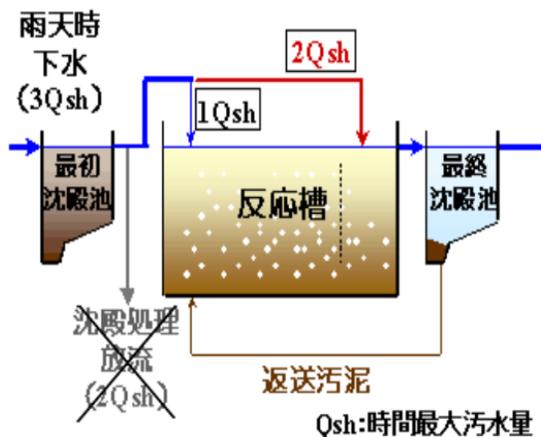
下水道の排除方式の違い



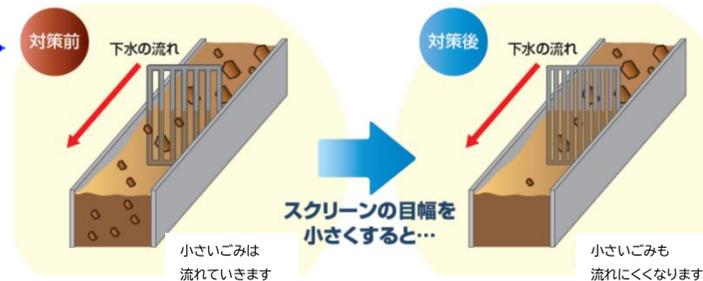
府域の合流区域

合流式下水道の改善

合流式下水道では、雨天時に雨水で希釈された下水の一部が処理されずに河川に放流されることから、河川への汚濁物質やごみの流出を抑制するため、雨天時処理の高度化やスクリーンの目幅縮小等の対策に取り組んでいます。



対策例(雨天時処理の高度化)



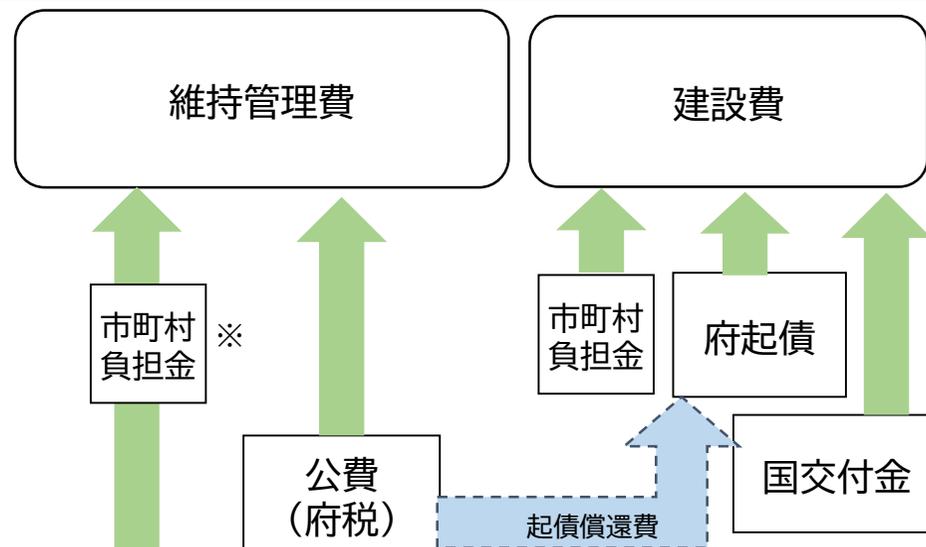
対策例(スクリーンの目幅縮小)

2. 下水道事業の財源

下水道事業の財源は、税金だけでなく、下水道使用者の負担により賄われています。

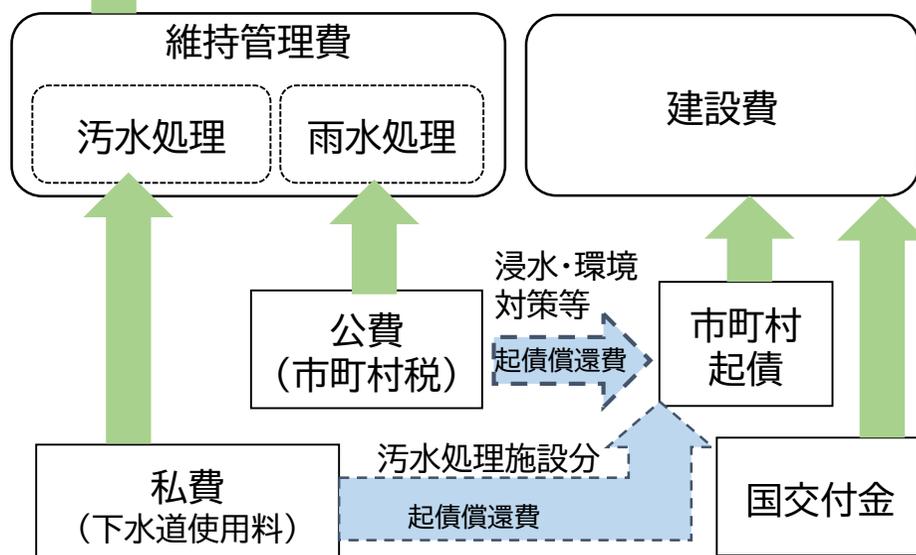
【流域下水道事業】

- 維持管理費は、府と市町村で分担しています（府が市町村から負担金を徴収）。
- 建設費は、府起債、国交付金、市町村の負担金でまかなわれ、起債の償還財源には公費が充てられます。



【公共下水道事業】

- 維持管理費のうち、污水处理にかかる費用は、使用者が支払う下水道使用料で賄っています。雨水排除にかかる費用は公費負担(市町村税)により賄っています(污水私費、雨水公費の原則)。
- 建設費は、市町村の起債と国交付金の比率が高く、起債の償還財源として、下水道使用料や公費が充てられています。



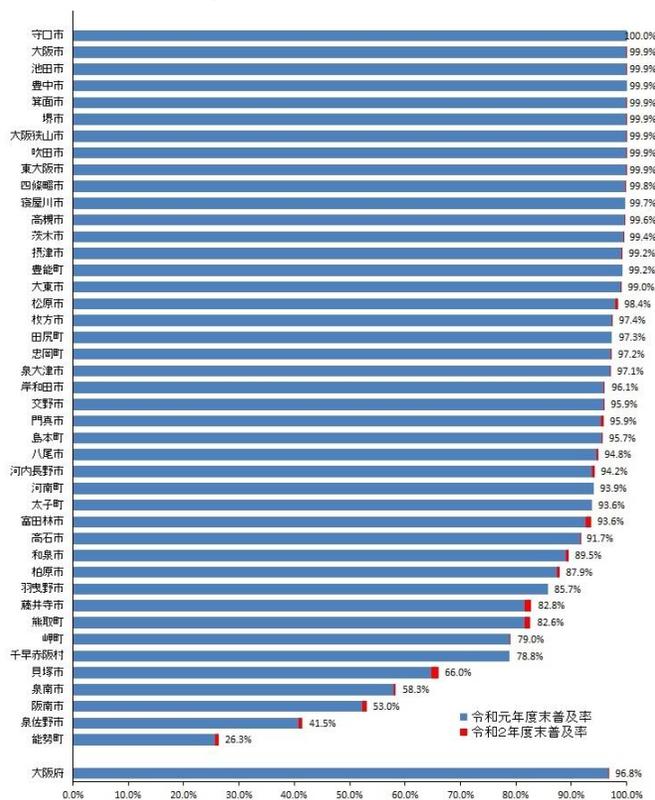
※図中下段の公共下水道は「流域関連公共下水道」を指します。「単独公共下水道」では流域下水道に対する市町村負担金は発生しません。

3. 大阪府内の下水道整備状況と公共用水域の改善

下水道は家庭や工場から排出される汚水を下水管きよを通じて収集することで清潔で快適な生活を支えるとともに、下水処理場で汚水を処理することで河川や海の環境改善を行っています。また、市街地に降った雨を下水管きよにより速やかに排除することで街を浸水から守っています。

下水道普及率の向上・高度処理の推進

下水道の普及向上と高度処理の推進により、河川及び大阪湾の環境基準値はおおむね達成し、特に都市河川の水質は大きく改善しました。



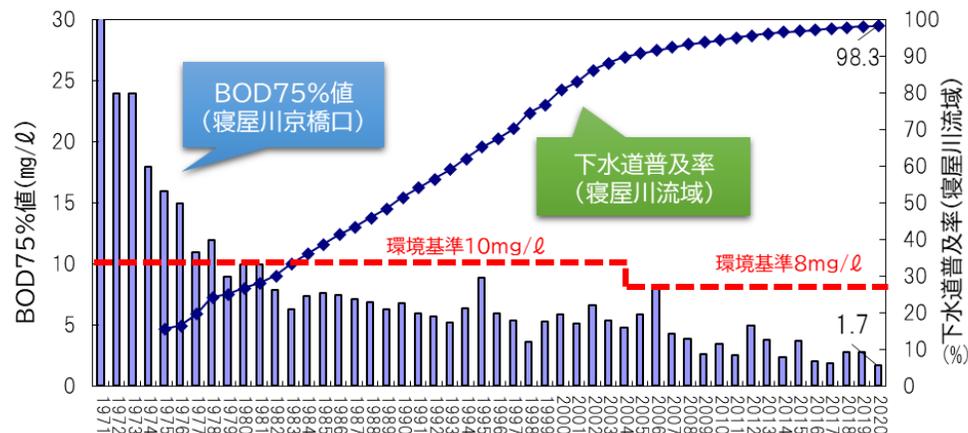
大阪府内市町村の下水道普及率(2020年度末)

(大阪府全体の下水道普及率は96.8%)

大阪府の水質環境基準達成状況(2020年度末)

	達成状況	達成率
河川(BOD)	78/81	96.3%
大阪湾(COD)	8/12	66.7%
大阪湾(T-N)	3/3	100%
大阪湾(T-P)	3/3	100%

BOD(生物化学的酸素要求量):
有機物量を表す汚濁指標(主に河川で使用)
COD(化学酸素要求量):
有機物量を表す汚濁指標(主に海や湖で使用)
T-N(全窒素):
すべての形態の窒素量を表す指標
T-P(全りん):
すべての形態のりん量を表す指標



下水道の普及と河川水質の改善状況(寝屋川流域の例)